

東中だより



No. 8

文責：高橋 泰

夏の各種大会を改めてふり返ってみると、今年特に印象的だったのは各会場に響いていた東中学校の応援歌です。部活動結束集会で宣言したとおりの応援振りでした。また、選手の健闘ぶりを見ると今年も「玉磨かざれば光なし」を実感する東中生の活躍でした。光り輝く宝石も磨く前の原石はただの石ころにしか見えません。しかし、カットを施し、いくつかの磨く過程を経ていくうちに光り輝いていきます。練習でやっていないことは試合ではできません。苦しい練習を通して技術を磨いたからこそ、本番で光り輝くことができたのだと思います。練習で培ってきた力が十分に発揮できなかった部もあったと思います。でも、磨いた技術は生きています。今後どこかで生かせるはずです。やってきたことに誇りを持ちましょう。

サッカーが2年連続、バスケ女子が14年ぶりに優勝 ～西三予選会～

7月12日(土)から始まった西三大会碧南・高浜地区予選会、多くのドラマを残しながら東中生はがんばりました。サッカーが2年連続優勝、バスケ女子が14年ぶりに優勝しました。また、卓球女子が昨年に引き続き団体で西三出場を決めました。水泳では個人種目に加えて女子400mリレー、400mメドレーリレーで県大会に出場しました。

西三河中学校選手権大会碧南・高浜地区予選会 の結果

<野球> トーナメント戦

●3-3 特別延長 6-4 対西端中

<サッカー> 優勝 西三大会出場

予選リーグ ○6-0 対高南中、○5-0 対西端中
○4-2 対中央中

準決勝 ○1-0 対新川中

決勝 ○3-0 対碧南中

<ソフトボール> 3位 リーグ戦 1勝2敗

●0-6 対高浜中、○6-2 対碧南中、
×3-7 対高南中

<バスケットボール男子> 予選敗退

予選リーグ ●48-78 対碧南中、
●50-61 対高南中 2敗

<バスケットボール女子> 優勝

予選 ○31-24 対高浜中、○36-56 対新川中
○68-44 対西端中 3勝

準決勝 ○54-51 対中央中

決勝 ○48-39 対碧南中

<ソフトテニス男子>

予選リーグ ●1-2 対新川中、○3-0 対西端中
決勝トーナメント1回戦 ●0-2 対碧南中

<ソフトテニス女子> 3位

予選リーグ ○2-1 対新川中、○2-1 対中央中
●1-2 対碧南中

準決勝 ●0-2 対新川中

<バレーボール> 4位 リーグ戦 3勝3敗

×0-2 対高南中、○2-0 対中央中、
○2-1 対高浜中、×1-2 対新川中、
×0-2 対碧南中、○2-0 対西端中

<水泳>

女子 100m 平泳 優勝 堀尾汐里

100m 背泳 優勝 堀尾歩見

400m リレー優勝(堀尾歩、堀尾汐、松本、神谷)

400m メドレー優勝(堀尾歩、堀尾汐、松本、神谷)

県標準記録突破、県大会出場者

400m リレー(堀尾歩、堀尾汐、松本、神谷)

400m メドレーリレー(堀尾歩、堀尾汐、松本、神谷)

堀尾汐里(200m 平泳、100m 平泳)

堀尾歩見(100m 背泳、50m 自由)

<卓球女子> 準優勝 団体 西三大会出場

×1-3 対高浜中、○3-1 対新川中、

○3-0 対中央中、○3-0 対碧南中、

○3-0 対西端中、○3-2 対高南中

個人西三大会出場者

山下瑠華、安原優佳、小澤美穂、○○○○

<卓球男子> 準優勝

○3-1 対中央中、○3-2 対高南中、

×0-3 対西端中、×0-3 対高浜中、

×1-3 対碧南中、×1-3 対新川中

個人 西三大会出場者

磯貝飛来

<剣道男子> 2勝2敗2分

団体 ○2-1 対高浜中、△0-0 対碧南中、

△1-1 対中央中、×0-4 対高南中、

○1-0 対新川中、×1-4 対西端中

個人戦 3位 大岡歩夢 西三大会出場

<剣道女子> 1勝4敗1分

団体 △1-1 対高南中、×1-2 対碧南中、

×0-2 対高浜中、×1-2 対新川中、

×1-3 対中央中、○2-1 対西端中

吹奏楽部 東海吹奏楽コンクールで金賞 !!

吹奏楽部は毎年、中部日本吹奏楽コンクールと愛知県吹奏楽コンクールの2つに挑みます。今年には自由曲としてM. デ・ファリャ作曲「バレエ音楽『恋は魔術師』より」を演奏しました。この曲は顧問の榊原宏樹先生にとって思い入れのある曲で、先生が高校時代に演奏し東海大会まで進んでいった曲だそうです。フルート、オーボエ、サクソ、クラリネットの4つのソロパートのある難しい曲です。一人ひとりの確かな演奏力が問われます。この演奏をするために、昨年から1年近くの準備と練習を積み重ね、一人ひとりの力を伸ばしてきたそうです。

7月に行われた2つのコンクールの西三南地区大会で金賞を受賞し、それぞれ県大会出場を決めました。まず8月1日(金)に中部日本吹奏楽コンクール県大会が行われました。そこでは、金賞を受賞したのですが、残念ながら県代表には選ばれませんでした。その雪辱に燃えて8月6日(水)の愛知県吹奏楽コンクールに向けて、決して妥協せず細部にまでこだわった調整を毎日のように行いました。そしてコンクール当日。プレッシャーにも負けず最高の演奏ができたそうです。結果は、7人の審査員が全員満点を出す快挙。金賞に加えて、1位の証である県教育委員会賞と朝日新聞社賞を受賞しました。そして、東海吹奏楽コンクールの代表権を取得しました。東海吹奏楽コンクールは8月23日(土)

です。結局3年生の引退は夏休み終盤まで伸びました。そして、東海大会当日。大会は岐阜県羽島市で行われました。愛知、岐阜、三重、静岡、長野の各県から代表として選ばれた15校が演奏しました。どの学校もレベルが高く素晴らしい演奏でした。大きな音を響かせ、高らかに演奏する学校。リズムカルに正確に演奏する学校。様々です。しかし、東中吹奏楽部が演奏を始めると、会場の雰囲気が変わりました。サクソなどのソロパートでは大きな会場が静まり返り、1つの楽器の音だけが曲を奏でます。会場中が緊張する雰囲気が伝わってきます。終盤ではパーカッションを中心に全員が1つになって躍動し演奏を終えます。演奏後、指揮者の振り向きに合わせて全員が一糸乱れず起立します。演奏後のあいさつはどの学校よりも際立っていました。

結果は、金賞。今年金賞は15校中4校でした。このコンクールはここで終わりでしたが、もしも全国大会まであるなら間違いなく選ばれたと思います。コンクール後のみんなの生き生きとした顔が印象的でした。

最後まで裏方でがんばった1年生のみなさん。楽器の運搬や準備ありがとうございました。これからは、1、2年生が中心になって厳しい練習を積み重ね、新たな歴史を作ってください。

西三河中学校選手権

本大会の結果

<サッカー>	
1回戦	○3-0 対竜北中(知立)
準々決勝	●1-3 対竜神中(豊田)
<バスケット女子>	
1回戦	●31-75 対六ツ美北中(岡崎)
<卓球女子>	
団体戦	予選リーグ 予選敗退
	●対桜井中、●対足助中、
	●対幸田南部中
個人戦	2回戦敗退…山下瑠華
	1回戦敗退…安原優佳、小澤美穂、
	○○○○

<卓球男子>	3回戦敗退…磯貝飛来
<剣道男子>	
個人戦	1回戦敗退…大岡歩夢
<水泳>	
個人部	優勝 堀尾汐里(100m平)
	2位 堀尾汐里(200m平)
<吹奏楽>	
中部日本吹奏楽コンクール三河Aブロック大会	金賞
〃	県大会 金賞
愛知県吹奏楽コンクール西三南地区大会	金賞
〃	県大会 県教育委員会賞
	朝日新聞社賞

愛知県大会の結果

<水泳>	堀尾汐里	100m 平泳ぎ 11位
	堀尾歩見	100m 背泳ぎ 41位

200m 平泳ぎ	13位
50m 自由形	48位

堀尾歩見、堀尾汐里、松本理愛、神谷香穂 400m リレー 23 位 400m メドレーリレー 28 位